

科目名	ホテル概論 I A					学期	前	期	期
担当教員	高野 直人	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2
学習目的	宿泊産業の中のホテルについて、現場で実際に起こる事例を交え歴史(外国、日本)、種類、社会的役割、構成内容(部門別)、専門用語の理解などホテル産業に携わるための知識を習得								
授業内容	ホテル産業の基礎的知識を学習する								
学習目標	今後さらにグローバル化する地域、社会におけるホテル産業の重要性とホテルの宿泊、料飲、宴会、調理各部門(すなわち営業部門)を具体的に理解する								
使用テキスト	ホテルビジネス基礎編								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	第1章 ホテルの基礎 ホテルとは					【事前】	ホテル産業について予習		
						【事後】	ホテル調査		
2	第1章 ホテルの基礎 欧米の歴史					【事前】	欧米のホテルの歴史について		
						【事後】	ホテル調査のレポート提出		
3	第1章 ホテルの基礎 日本の発展史					【事前】	日本のホテル発展史		
						【事後】	課題提出		
4	第1章 ホテルの基礎 国際儀礼の基本					【事前】	プロトコール		
						【事後】	課題提出		
5	第1章 ホテルの基礎 ホスピタリティマインド					【事前】	ホテル調査		
						【事後】	レポート提出		
6	第2章 ホテルの基礎 ホスピタリティマインド					【事前】	ホテル調査		
						【事後】	レポート提出		
7	第1章 ホテルの基礎 ホテル関連知識					【事前】	第1章ホテルの基礎 まとめ		
						【事後】	検定試験問題集による小テスト		
8	第1章 ホテルの基礎 ホテル関連知識					【事前】	第1章ホテルの基礎 まとめ		
						【事後】	検定試験問題集による小テスト		
9	第2章 宿泊部門の業務 宿泊部門の概要					【事前】	宿泊部門の概要		
						【事後】	課題提出		
10	第2章 宿泊部門の業務 宿泊部門の概要					【事前】	宿泊部門の特性		
						【事後】	課題の提出		
11	第2章 宿泊部門の業務 宿泊商品の特性					【事前】	宿泊部門の特性		
						【事後】	課題の提出		
12	第2章 宿泊部門の業務 宿泊商品の特性					【事前】	第2章宿泊部門 まとめ		
						【事後】	検定試験問題集による小テスト		
13	第2章 宿泊部門の業務 担当者業務					【事前】	第2章宿泊部門 まとめ		
						【事後】	検定試験問題集による小テスト		
14	第2章 宿泊部門の業務 担当者業務					【事前】	第2章宿泊部門 まとめ		
						【事後】	検定試験問題集による小テスト		
15	第2章 宿泊部門の業務 まとめ					【事前】	第1章・2章のまとめ		
						【事後】	期末テスト		
	評価項目/割合					評価内容			
評価基準	1. 課題	30 %	ホテル業界の理解、ホテルの基礎の習得、ホテルに関する調査レポート・授業の課題提出						
	2. 授業姿勢	30 %	集中力、社会人予備軍としてのマナー、態度を重視(私語、居眠り、姿勢(たとえば見えないうちで靴を脱いだり、脚を組んだりした緊張のない姿勢は失格)などを重視)						
	3. テストその他	40 %	筆記文によるテストは読む人にわかり易く、誤字脱字がないように読み返す気配りがある学生						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	校外実地見学・研修等を経験(見る・聞く・行う)することによって、ホテルサービスに関する初歩的業務機能を実践的に学ぶことが可能。そのことを踏まえて「ホテルビジネス検定試験:ベーシック2級」の合格を目指した効果的対応を図る。								

科目名	ホテル概論 I B					学期	後 期
担当教員	高野 直人	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修
学習目的	宿泊産業の中のホテルについて、現場で実際に起こる事例を交え歴史(外国、日本)、種類、社会的役割、構成内容(部門別)、専門用語の理解などホテル産業に携わるための知識を習得						
授業内容	ホテル産業の基礎的知識を学習する						
学習目標	今後さらにグローバル化する地域、社会におけるホテル産業の重要性とホテルの宿泊、料飲、宴会、調理各部門(すなわち営業部門)を具体的に理解する						
使用テキスト	ホテルビジネス基礎編						
週数	授業計画				事前・事後の学習		
1	第3章 料飲部門の業務 料飲部門の特性	【事前】	料飲部門の特性				
		【事後】	課題提出				
2	第3章 料飲部門の業務 料飲部門の特性	【事前】	料飲部門の特性				
		【事後】	課題提出				
3	第3章 料飲部門の業務 料飲部門の特性	【事前】	料飲部門の特性				
		【事後】	小テスト				
4	第3章 料飲部門の業務 料飲部門の担当業務	【事前】	料飲部門の実務				
		【事後】	課題提出				
5	第3章 料飲部門の業務 料飲部門の担当業務	【事前】	料飲部門の実務				
		【事後】	課題提出				
6	第3章 料飲部門の業務 料飲部門の担当業務	【事前】	料飲部門の実務				
		【事後】	小テスト				
7	第3章 料飲部門の業務 料飲実務の実務	【事前】	料飲部門の業務				
		【事後】	課題提出				
8	第3章 料飲部門の業務 料飲実務の実務	【事前】	料飲部門の業務				
		【事後】	課題提出				
9	第3章 料飲部門の業務 料飲実務の実務	【事前】	料飲部門の業務				
		【事後】	検定試験問題集による小テスト				
10	第3章 料飲部門の業務 料飲実務の実務	【事前】	料飲部門の業務				
		【事後】	課題提出				
11	第3章 料飲部門の業務 料飲実務の実務	【事前】	料飲部門の業務				
		【事後】	課題提出				
12	第3章 料飲部門の業務 料飲実務の実務	【事前】	料飲部門の業務				
		【事後】	ホテル・旅館調査				
13	第3章 料飲部門の業務 第3章のまとめ	【事前】	料飲部門の業務				
		【事後】	小テスト				
14	第3章 料飲部門の業務 第3章のまとめ	【事前】	料飲部門のまとめ				
		【事後】	レポート提出				
15	第3章 料飲部門の業務 第3章のまとめ	【事前】	料飲部門のまとめ				
		【事後】	期末テスト				
	評価項目/割合	評価内容					
評価基準	1. 課題 30 %	ホテル業界の理解、ホテルの基礎の習得、ホテルに関する調査レポート・授業の課題提出					
	2. 授業姿勢 30 %	集中力、社会人予備軍としてのマナー、態度を重視(私語、居眠り、姿勢(たとえば見えないと思って靴を脱いだり、足を組んだりした緊張のない姿勢は失格)などを重視					
	3. テストその他 40 %	筆記文によるテストは読む人にわかり易く、誤字脱字がないように読み返す気配りがある学生					
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。						
目標検定・課外授業実施予定・その他	校外実地見学・研修等を経験(見る・聞く・行う)することによって、ホテルサービスに関する初歩的業務機能を実践的に学ぶことが可能。そのことを踏まえて「ホテルビジネス検定試験:ベーシック2級」の合格を目指した効果的対応を図る。						

科目名	ホテル概論ⅡA					学期	前期
担当教員	高野 直人	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修
学習目的	宿泊産業の中のホテルについて、現場で実際に起こる事例を交え歴史(外国、日本)、種類、社会的役割、構成内容(部門別)、専門用語の理解などホテル産業に携わるための知識を習得						
授業内容	ホテル産業の基礎的知識を学習する						
学習目標	今後さらにグローバル化する地域、社会におけるホテル産業の重要性とホテルの宿泊、料飲、宴会、調理各部門(すなわち営業部門)を具体的に理解する						
使用テキスト	ホテルビジネス基礎編						
週数	授業計画				事前・事後の学習		
1	第4章 宴会部門の業務 宴会商品の特性	【事前】	宴会部門の特性				
		【事後】	課題提出				
2	第4章 宴会部門の業務 宴会商品の特性	【事前】	宴会部門の組織と業務役割				
		【事後】	小テスト				
3	第4章 宴会部門の業務 宴会部門の組織	【事前】	ホテル・旅館調査				
		【事後】	課題提出				
4	第4章 宴会部門の業務 宴会部門の組織	【事前】	ホテル・旅館調査				
		【事後】	小テスト				
5	第4章 宴会部門の業務 宴会部門の業務	【事前】	ホテル・旅館調査				
		【事後】	課題提出				
6	第4章 宴会部門の業務 宴会部門の業務	【事前】	宴会部門の組織と業務役割				
		【事後】	小テスト				
7	第4章 宴会部門の業務 宴会部門の業務	【事前】	宴会部門の組織と業務役割				
		【事後】	課題提出				
8	第4章 宴会部門の業務 宴会部門の実務	【事前】	宴会部門の組織と業務役割				
		【事後】	課題提出				
9	第4章 宴会部門の業務 宴会部門の実務	【事前】	宴会部門の組織と業務役割				
		【事後】	課題提出				
10	第4章 宴会部門の業務 宴会部門の実務	【事前】	宴会部門の担当者業務				
		【事後】	課題提出				
11	第4章 宴会部門の業務 宴会部門の実務	【事前】	宴会部門の担当者業務				
		【事後】	小テスト				
12	第4章 宴会部門の業務 まとめ 宴会部門の実務	【事前】	宴会部門の担当者業務				
		【事後】	課題提出				
13	第4章 宴会部門の業務 まとめ 宴会部門の実務	【事前】	第3章・4章まとめ				
		【事後】	課題提出				
14	第4章 宴会部門の業務 まとめ	【事前】	第3章・4章まとめ				
		【事後】	課題提出				
15	第4章 宴会部門の業務 まとめ	【事前】	第3章・4章まとめ				
		【事後】	期末テスト				
	評価項目/割合	評価内容					
評価基準	1. 課題 30%	ホテル業界の理解、ホテルの基礎の習得、ホテルに関する調査レポート・授業の課題提出					
	2. 授業姿勢 30%	集中力、社会人予備軍としてのマナー、態度を重視(私語、居眠り、姿勢(たとえば見えないうちで靴を脱いだり、脚を組んだりした緊張のない姿勢は失格)などを重視)					
	3. テストその他 40%	筆記文によるテストは読む人にわかり易く、誤字脱字がないように読み返す気配りがある学生					
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。						
目標検定・課外授業実施予定・その他	校外実地見学・研修等を経験(見る・聞く・行う)することによって、ホテルサービスに関する初歩的業務機能を実践的に学ぶことが可能。そのことを踏まえて「ホテルビジネス検定試験:ベーシック2級」の合格を目指した効果的対応を図る。						

科目名	ホテル概論ⅡB					学期	後 期
担当教員	高野 直人	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	選択必修
学習目的	宿泊産業の中のホテルについて、現場で実際に起こる事例を交え歴史(外国、日本)、種類、社会的役割、構成内容(部門別)、専門用語の理解などホテル産業に携わるための知識を習得						
授業内容	ホテル産業の基礎的知識を学習する						
学習目標	今後さらにグローバル化する地域、社会におけるホテル産業の重要性とホテルの宿泊、料飲、宴会、調理各部門(すなわち営業部門)を具体的に理解する						
使用テキスト	ホテルビジネス基礎編						
週数	授業計画				事前・事後の学習		
1	第5章 調理部門の業務 調理部門の特性 制約要件からくる特性	【事前】	調理部門の特性				
		【事後】	課題提出				
2	第5章 調理部門の業務 調理部門の特性 制約要件からくる特性	【事前】	調理部門の特性				
		【事後】	小テスト				
3	第5章 調理部門の業務 調理部門の特性 制約要件からくる特性	【事前】	調理部門の特性				
		【事後】	課題提出				
4	第5章 調理部門の業務 調理部門の特性 メニュー開発・経費から見たの特性	【事前】	ホテル・旅館調査				
		【事後】	小テスト				
5	第5章 調理部門の業務 調理部門の特性 メニュー開発・経費から見たの特性	【事前】	ホテル・旅館調査				
		【事後】	課題提出				
6	第5章 調理部門の業務 調理部門の組織と業務役割 調理部門の組織	【事前】	調理部門の組織				
		【事後】	小テスト				
7	第5章 調理部門の業務 調理部門の組織と業務役割 調理部門の組織	【事前】	調理部門の組織				
		【事後】	課題提出				
8	第5章 調理部門の業務 調理部門の組織と業務役割 料理部門の業務	【事前】	メイン・宴会・レストラン・製菓の各業務				
		【事後】	課題提出				
9	第5章 調理部門の業務 調理部門の組織と業務役割 料理部門の業務	【事前】	メイン・宴会・レストラン・製菓の各業務				
		【事後】	レポート提出				
10	第5章 調理部門の業務 調理部門の実務 調理の種類・施設・設備・備品の知識	【事前】	ホテル・旅館調査				
		【事後】	小テスト				
11	第5章 調理部門の業務 調理部門の実務 調理の種類・施設・設備・備品の知識	【事前】	ホテル・旅館調査				
		【事後】	課題提出				
12	第4章 調理部門の業務 調理部門の実務 西洋料理の基礎知識	【事前】	西洋料理の基礎知識				
		【事後】	レポート提出				
13	第5章 調理部門の業務 調理部門の実務 西洋料理の基礎知識	【事前】	西洋料理の基礎知識				
		【事後】	小テスト				
14	第5章 調理部門の業務 担当業務 西洋料理の主な担当者業務	【事前】	西洋料理の主な担当者業務				
		【事後】	課題提出				
15	第5章 調理部門の業務 担当業務 西洋料理の主な担当者業務	【事前】	西洋料理の主な担当者業務				
		【事後】	期末テスト				
	評価項目/割合	評価内容					
評価基準	1. 課題 30 %	ホテル業界の理解、ホテルの基礎の習得、ホテルに関する調査レポート・授業の課題提出					
	2. 授業姿勢 30 %	集中力、社会人予備軍としてのマナー、態度を重視(私語、居眠り、姿勢(たとえば見えないと思って靴を脱いだり、脚を組んだりした緊張のない姿勢は失格)などを重視					
	3. テストその他 40 %	筆記文によるテストは読む人にわかり易く、誤字脱字がないように読み返す気配りがある学生					
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。						
目標検定・課外授業実施予定・その他	校外実地見学・研修等を経験(見る・聞く・行う)することによって、ホテルサービスに関する初歩的業務機能を実践的に学ぶことが可能。そのことを踏まえて「ホテルビジネス検定試験:ベーシック2級」の合格を目指した効果的対応を図る。						

科目名	FB実務 I A						学期	前 期	
担当教員	高野直人・前田唯之	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	2
学習目的	食品衛生及び公衆衛生に関する一般的な知識を習得することを目的とする								
授業内容	食品衛生、公衆衛生、食品に関する知識について学ぶ								
学習目標	国家検定「レストランサービス技能検定」3級合格								
使用テキスト	西洋料理 料飲接客サービス技法								
週数	授業計画								
1	衛生学 (1)食品及び調理器具の取扱 (2)食中毒 (3)寄生虫 (4)ねずみ、ゴキブリ、はえ等 (5)腐敗及び変敗 (6)洗浄 (7)殺菌及び消毒								
2	衛生学 (1)個人衛生と公衆衛生 (2)環境衛生 (3)疾病の予防								
3	料飲概論 (1)食品の分類別特徴 (2)食品の管理 (3)食品の加工 (4)食品の貯蔵								
4	料飲概論 (1)前菜 (2)スープ (3)魚・甲殻・貝類 (4)家畜 (5)家禽(鶏肉)(6)野鳥獣肉 (7)野菜 (8)チーズ (9)デザート の概略の知識								
5	料飲概論 西洋料理の基本的な料理法に関する概略な知識								
6	料飲概論 飲料の種類及び特徴にの概略な知識 (1)ビール (2)スピリッツ (3)ブランディー (4)ウイスキー (5)ジン(6)ウォッカ (7)ラム (8)テキーラ(9)リキュール (10)ミネラルウォーター								
7	料飲概論 ワインの種類及び性質の概略の知識 (1)生ワイン(スティルワイン) (2)発泡性ワイン(スパークリングワイン)(3)酒精強化ワイン(フォーティファイド・ワイン) (4)混成ワイン(フレーバード・ワイン)								
8	料飲概論 ワインの産地、特徴、品質の概略の知識 (1)フランスのワイン (2)ドイツのワイン (3)イタリアのワイン (4)アメリカのワイン (5)オーストラリアのワイン (6)その他								
9	料飲概論 ぶどうの品種に関する概略の知識 (1)赤ワイン用ぶどうの品種 (2)白ワイン用ぶどうの品種								
10	サービス論 宴会の種類及び内容の概略の知識 (1)晚餐 (2)昼餐 (3)ビュッフェ (4)カクテル・パーティー (5)レセプション(6)ティーパーティー (7)その他								
11	サービス論 宴会運営の概略な知識 (1)配置する従業員の手配 (2)家具・什器とリネンの準備 (3)付随する食品及び飲料 (4)テーブル・プランの作成 (5)客席と食器準備 (6)受付・案内 (7)客の誘導 (8)宴会サービス								
12	サービス論 レストランサービスの準備に関する概略の知識 (1)テーブルの準備 (2)椅子の配置								
13	サービス論 サービスの準備に関する概略の知識(1)フレンチ・サービス (2)ルシアン(ロシア風) サービス (3)イングリッシュ(英国風) サービス (4)アメリカン(米国風) サービス								
14	サービス論 (1)接客マナー (2)食器の種類及び用途 (3)レストランサービスの準備及び点検 (4)客席案内 (5)注文の取り方 (6)料理の運搬方法 (7)テーブルサービス (8)食事のマナー (9)客席における調理の仕上げ (10)メニューの作成及び管理 (11)料理、食器等の異常 (12)食事の国際習慣								
15	サービス論 まとめ								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	30 %	レポート提出、授業の課題提出から評価する						
	2. 授業姿勢	30 %	授業態度、積極性・協調性などから評価する						
	3. テストその他	40 %	レポート、テスト結果等を評価する						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	国家検定「レストランサービス技能検定」3級合格								

科目名	FB実務 I B						学期	後 期	
担当教員	高野直人・前田唯之	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	4
学習目的	レストランサービスに関する一般的な知識を習得することを目的とする								
授業内容	西洋料理に使用される食材や調理法および飲料の種類や特徴について学ぶ								
学習目標	国家検定「レストランサービス技能検定」3級合格								
使用テキスト	西洋料理 料飲接客サービス技法								
週数	授業計画								
1	食文化論 (1)食文化史と現状の食環境 (2)食の技術 (3)食文化と食事作法								
2	食文化論 (4)西洋料理の変遷、特徴及び様式								
3	サービス関連知識 施設設備の概略の知識 (1)建築設備 (2)防災設備 (3)空気調和設備、換気設備、ダンパー等 (4)排水設備 (5)化粧室、トイレ (6)電気設備、店内照明								
4	サービス関連知識 遺失物への対処方法に関する概略の知識								
5	サービス関連知識 (1)食事サービスの遅延 (2)注文と現品の相違 (3)サービス中の粗相								
6	サービス関連知識 (4)料理への異物の混入 (5)食中毒								
7	サービス関連知識 不良客の対応に関する概略な知識								
8	サービス関連知識 食品衛生法関係法令のうちレストランサービスに関する一般的な知識								
9	サービス関連知識 レストランサービスに関する安全衛生に関する詳細な知識 (1)調理用器具及び機械の危険性及びこれらの取扱方法								
10	サービス関連知識 レストランサービスに関する安全衛生に関する詳細な知識 (2)安全装置、保護具の使用及び点検修理								
11	サービス関連知識 レストランサービスに関する安全衛生に関する詳細な知識 (3)作業開始前の点検								
12	サービス関連知識 レストランサービスに関する安全衛生に関する詳細な知識 (4)レストランサービスに関し業務上発生するおそれのある災害及び疾病の原因及び防止対策								
13	サービス関連知識 レストランサービスに関する安全衛生に関する詳細な知識 (5)整理とん及び清潔の保持								
14	サービス関連知識 労働安全衛生関連法規のうち、レストランサービスに関する部分の詳細な知識								
15	サービス関連知識 労働安全衛生関連法規のうち、レストランサービスに関する部分の詳細な知識								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	30 %	レポート提出、授業の課題提出から評価する						
	2. 授業姿勢	30 %	授業態度、積極性・協調性などから評価する						
	3. テストその他	40 %	レポート、テスト結果等を評価する						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	国家検定「レストランサービス技能検定」3級合格								

科目名	FB実務ⅡA						学期	前期	
担当教員	高野直人・前田唯之	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	選択必修	単位数	3
学習目的	食文化に関する知識を習得することを習得することを目的とする								
授業内容	宴会やレストランの種類及び運営、接客マナー、テーブルサービスについて学ぶ								
学習目標	国家検定「レストランサービス技能検定」3級合格								
使用テキスト	西洋料理 料飲接客サービス技法								
週数	授業計画								
1	サービス実習 接客マナー・テーブルサービス 正しい客席案内								
2	サービス実習 接客マナー・テーブルサービス 注文								
3	サービス実習 接客マナー・テーブルサービス 客席での販売促進								
4	サービス実習 接客マナー・テーブルサービス オーダー								
5	サービス実習 接客マナー・テーブルサービス 伝票処理								
6	サービス実習 接客マナー・テーブルサービス セッティング								
7	サービス実習 接客マナー・テーブルサービス テーブルセット								
8	サービス実習 接客マナー・テーブルサービス 料理、飲料に応じた正しい運搬								
9	サービス実習 接客マナー・テーブルサービス 料理、飲料に応じた正しいサービス								
10	サービス実習 接客マナー・テーブルサービス 食器類の後片づけ								
11	サービス実習 接客マナー・テーブルサービス 突発事態に対する対処								
12	サービス実習 接客マナー・テーブルサービス テーブルの後片付け								
13	テーブルマナー研修								
14	テーブルマナー研修								
15	テーブルマナー研修								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	30%	レポート提出、授業の課題提出から評価する						
	2. 授業姿勢	30%	授業態度、積極性・協調性などから評価する						
	3. テストその他	40%	レポート、テスト結果等を評価する						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	国家検定「レストランサービス技能検定」3級合格								

科目名	FB実務ⅡB						学期	後 期	
担当教員	高野直人・前田唯之	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	選択必修	単位数	3
学習目的	接客マナー、テーブルサービス方法、実務を学ぶ								
授業内容	地域の食材を使用したメニュー開発や調理サービス方法、実務を学ぶ								
学習目標	「食」に関するイベントの企画・運営								
使用テキスト	オリジナル								
週数	授業計画								
1	メニュー考案 ・市場調査 ・コンセプト								
2	メニュー考案 ・提案書作成								
3	提案書の発表								
4	レストラン運営 ・商品化計画								
5	苦情処理 ・料飲接客サービスにおける苦情処理								
6	苦情処理 ・受客の拒否 ・スキッパーなど								
7	レストラン運営 ・セールス ・販売促進、広報								
8	サービス実技トレーニング シミュレーション								
9	サービス実技トレーニング シミュレーション								
10	「食」のイベントリハーサル								
11	「食」のイベント開催								
12	「食」のイベント開催								
13	「食」のイベント開催								
14	「食」のイベント開催								
15	イベント振返り								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	30 %	「食」のイベントに向けての準備資料、アイデア等からの企画書、提案書から評価する						
	2. 授業姿勢	30 %	授業態度、積極性・協調性などから評価する						
	3. テストその他	40 %	レポート、テスト結果等を評価する						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	「食」のイベント企画・運営								

科目名	ブライダル総論 I A						学期	前 期	
担当教員	高野 直人	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2
学習目的	ウェディングプランナーとして必要な基礎知識を学習する								
授業内容	ウェディングプランナーの役割、具体的業務内容、業務の流れなど仕事に携わるために必要な専門知識を、現場で実際に起こる事例を交え学ぶ								
学習目標	AWP検定に合格し、ブライダル業務全般を理解する								
使用テキスト	オリジナル								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	ヒューマン概論・歴史概論	【事前】	ブライダル産業について予習						
		【事後】	ブライダル調査						
2	言語概論・プレゼンテーション	【事前】	結婚式の歴史について						
		【事後】	ブライダル調査のレポート提出						
3	接客概論・ロールプレイング	【事前】	結婚式の発展						
		【事後】	課題提出						
4	実務概論	【事前】	サービスの基本						
		【事後】	検定試験問題集による小テスト						
5	タイムスケジュール・見積書	【事前】	結婚式の組織について						
		【事後】	ホテル調査						
6	テーブルプラン	【事前】	トレンド調査						
		【事後】	課題提出						
7	席次表と続柄	【事前】	トレンド調査						
		【事後】	課題提出						
8	オリジナルプラン作成	【事前】	結婚式場調査						
		【事後】	レポート提出						
9	オリジナルプラン提案	【事前】	まとめ						
		【事後】	検定試験問題集による小テスト						
10	クリエイティブ概論	【事前】	結婚式場調査						
		【事後】	課題提出						
11	広告・企画概論	【事前】	ブライダル商品						
		【事後】	課題提出						
12	経済概論	【事前】	ブライダル商品						
		【事後】	レポート提出						
13	披露宴の役割	【事前】	ブライダル商品						
		【事後】	検定試験問題集による小テスト						
14	披露宴の役割	【事前】	ブライダル商品						
		【事後】	検定試験問題集による小テスト						
15	模擬披露宴	【事前】	まとめ						
		【事後】	前期期末テスト						
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	30 %	実習課題の取り組み姿勢						
	2. 授業姿勢	30 %	出席状況・授業態度・言葉遣い						
	3. テストその他	40 %	期末テスト						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	AWP検定								

科目名	ブライダル総論 I B						学期	後 期	
担当教員	高野 直人	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2
学習目的	実際の新郎新婦の結婚式をプロデュースすることで、ブライダル業界の仕組み、ブライダルプロデュースの一連の流れ、役割、理由を学習する								
授業内容	ウェディングプランナーの役割、具体的業務内容、業務の流れなど仕事に携わるために必要な専門知識を、現場で実際に起こる事例を交え学ぶ								
学習目標	ブライダル業界の専門家達との仕事を通じたやり取りの中で、各業種、仕事への理解を深め、今後の進路選択の参考とすることが可能となることを理解する								
使用テキスト	オリジナル								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	ブライダルに関わる人々の役割	【事前】	サービス部門の特性			【事後】	課題提出		
		【事後】				【事前】	ホテル結婚式調査		
2	ブライダルストーリー:集客・告知	【事前】	ホテル結婚式調査			【事後】	レポート提出		
		【事後】				【事前】	サービス部門の基本知識		
3	ブライダルストーリー:計画の基礎(マーケティング)	【事前】	サービス部門の基本知識			【事後】	検定試験問題集による小テスト		
		【事後】				【事前】	プランナーの業務		
4	ブライダルストーリー:ビジネスパートナー選定	【事前】	プランナーの業務			【事後】	課題提出		
		【事後】				【事前】	プランナーの実務		
5	ブライダルストーリー:ブライダル現場における用語、必要知識の理解	【事前】	プランナーの実務			【事後】	ホテル結婚式調査		
		【事後】				【事前】	プランナーの実務		
6	ブライダルストーリー:プランニング・コンセプトシート作成	【事前】	プランナーの実務			【事後】	小テスト		
		【事後】				【事前】	プランナーの実務		
7	ブライダルストーリー:会場レイアウト・会場装飾プランニング	【事前】	プランナーの実務			【事後】	レポート提出		
		【事後】				【事前】	まとめ		
8	ブライダルストーリー:コンセプトシートプレゼンテーション	【事前】	まとめ			【事後】	小テスト		
		【事後】				【事前】	プロデューサーの特性		
9	ブライダルストーリー:婚見見積書の作成	【事前】	プロデューサーの特性			【事後】	課題提出		
		【事後】				【事前】	プロデューサー業務の役割		
10	ブライダルストーリー:新規接客の基本・ロールプレイング	【事前】	プロデューサー業務の役割			【事後】	小テスト		
		【事後】				【事前】	ホテル結婚式の調査		
11	ブライダルストーリー:パートナー選定、パートナーとのキックオフミーティング	【事前】	ホテル結婚式の調査			【事後】	課題提出		
		【事後】				【事前】	プロデューサー業務の役割		
12	ブライダルストーリー:婚打合せ① 全体説明、見積り、招待状、各種手配確認	【事前】	プロデューサー業務の役割			【事後】	小テスト		
		【事後】				【事前】	プランナー以外の実務		
13	ブライダルストーリー:婚打合せ後の業務① 招待状の発注、各種手配	【事前】	プランナー以外の実務			【事後】	課題提出		
		【事後】				【事前】	プランナー以外の業務		
14	ブライダルストーリー:婚打合せ②の準備 コンセプトシート、プランニング基礎作成 料理、飲料、装花装飾、演出、写真、映像、引出物等	【事前】	プランナー以外の業務			【事後】	小テスト		
		【事後】				【事前】	まとめ		
15	ブライダルストーリー:婚打合せ後の業務② 書類作成、各種手配	【事前】	まとめ			【事後】	期末テスト		
		【事後】							
	評価項目/割合		評価内容						
評価基準	1. 課題	30 %	実際のお客様の一生に一度の結婚式を手掛けることへの責任、自身のモチベーションもっと素敵な結婚式にするための情報、企画、提案、実現力 夢を叶える仕事におけるビジネス感覚						
	2. 授業姿勢	30 %	積極性・協調性・創造性・実現力・責任感・リーダーシップ・ドキュメント力						
	3. テストその他	40 %	授業内容に対するレポート ブライダルストーリーに向けての準備資料 授業以外におけるアイデア等からの企画書、提案書						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	AWP検定								

科目名	ブライダル総論ⅡA						学期	前期		
担当教員	高野 直人	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2	
学習目的	実際の新郎新婦の結婚式をプロデュースすることで、ブライダル業界の仕組み、ブライダルプロデュースの一連の流れ、役割、理由を学習する									
授業内容	ウェディングプランナーの役割、具体的業務内容、業務の流れなど仕事に携わるために必要な専門知識を、現場で実際に起こる事例を交え学ぶ									
学習目標	ブライダル業界の専門家達との仕事を通じたやり取りの中で、各業種、仕事への理解を深め、今後の進路選択の参考とすることが可能となることを理解する									
使用テキスト	オリジナル									
週数	授業計画					事前・事後の学習				
1	1年次の振り返り						【事前】	振り返り		
							【事後】	課題提出		
2	ブライダルストーリー:ビジネスパートナーとの情報共有						【事前】	資料作成		
							【事後】	資料提出		
3	ブライダルストーリー:ビジネスパートナーとの情報共有						【事前】	資料作成		
							【事後】	資料提出		
4	ブライダルストーリー:ビジネスパートナーとの情報共有						【事前】	資料作成		
							【事後】	資料提出		
5	ブライダルストーリー:婚礼会場との打合せ、情報共有						【事前】	資料作成		
							【事後】	資料提出		
6	ブライダルストーリー:婚礼会場との打合せ、情報共有						【事前】	資料作成		
							【事後】	資料提出		
7	ブライダルストーリー:婚礼打合せ③の準備 最終版資料作成、手配先確認						【事前】	資料作成		
							【事後】	資料提出		
8	ブライダルストーリー:婚礼打合せ③の準備 最終版資料作成、手配先確認						【事前】	資料作成		
							【事後】	資料提出		
9	ブライダルストーリー:婚礼打合せ③の準備 最終版資料作成、手配先確認						【事前】	資料作成		
							【事後】	資料提出		
10	ブライダルストーリー:婚礼打合せ③ 司会打合せ、当日に向けての最終確認						【事前】	資料作成		
							【事後】	資料提出		
11	ブライダルストーリー:婚礼打合せ後の業務③ 書類作成、各種手配						【事前】	資料作成		
							【事後】	資料提出		
12	ブライダルストーリー:婚礼打合せ後の業務③ 書類作成、各種手配						【事前】	資料作成		
							【事後】	資料提出		
13	ブライダルストーリー:婚礼打合せ後の業務③ 書類作成、各種手配						【事前】	資料作成		
							【事後】	資料提出		
14	ブライダルストーリー:最終確認 パートナー個別最終打ち合わせ						【事前】	資料作成		
							【事後】	資料提出		
15	ブライダルストーリー:最終確認 パートナー個別最終打ち合わせ						【事前】	資料作成		
							【事後】	資料提出		
	評価項目/割合					評価内容				
評価基準	1. 課題	30 %	実際のお客様の一生に一度の結婚式を手掛けることへの責任、自身のモチベーションもっと素敵な結婚式にするための情報、企画、提案、実現力 夢を叶える仕事におけるビジネス感覚							
	2. 授業姿勢	30 %	積極性・協調性・創造性・実現力・責任感・リーダーシップ・ドキュメント力							
	3. テストその他	40 %	授業内容に対するレポート ブライダルストーリーに向けての準備資料 授業以外におけるアイデア等からの企画書、提案書							
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。										
目標検 定・課外 授業実 施予定・ その他	ブライダルストーリー									

科目名	ブライダル総論ⅡB						学期	後 期	
担当教員	高野 直人	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	選択必修	単位数	2
学習目的	実際の新郎新婦の結婚式をプロデュースすることで、ブライダル業界の仕組み、ブライダルプロデュースの一連の流れ、役割、理由を学習する								
授業内容	ウェディングプランナーの役割、具体的業務内容、業務の流れなど仕事に携わるために必要な専門知識を、現場で実際に起こる事例を交え学ぶ								
学習目標	ブライダル業界の専門家達との仕事を通じたやり取りの中で、各業種、仕事への理解を深め、今後の進路選択の参考とすることが可能となることを理解する								
使用テキスト	オリジナル								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	ブライダルストーリー:最終確認 リハーサル	【事前】	資料作成						
		【事後】	資料提出						
2	ブライダルストーリー:最終確認 リハーサル	【事前】	資料作成						
		【事後】	資料提出						
3	ブライダルストーリー:最終確認 リハーサル	【事前】	資料作成						
		【事後】	資料提出						
4	ブライダルストーリー:最終確認 リハーサル	【事前】	資料作成						
		【事後】	資料提出						
5	ブライダルストーリー:最終確認 会場・パートナー打合せ	【事前】	資料作成						
		【事後】	資料提出						
6	ブライダルストーリー:最終確認 会場・パートナー打合せ	【事前】	資料作成						
		【事後】	資料提出						
7	ブライダルストーリー:搬入、準備	【事前】	資料作成						
		【事後】	資料提出						
8	ブライダルストーリー:搬入、準備	【事前】	資料作成						
		【事後】	資料提出						
9	ブライダルストーリー:前日リハーサル・会場確認・手配物確認	【事前】	資料作成						
		【事後】	資料提出						
10	ブライダルストーリー:前日リハーサル・会場確認・手配物確認	【事前】	資料作成						
		【事後】	資料提出						
11	ブライダルストーリー:本番	【事前】	資料作成						
		【事後】	資料提出						
12	ブライダルストーリー:本番	【事前】	資料作成						
		【事後】	資料提出						
13	ブライダルストーリー:本番	【事前】	資料作成						
		【事後】	資料提出						
14	ブライダルストーリー:ビジネスパートナーとの反省会 次年度への引き継ぎ	【事前】	資料作成						
		【事後】	資料提出						
15	ブライダルストーリー:振り返りディスカッション	【事前】	資料作成						
		【事後】	資料提出						
	評価項目/割合	評価内容							
評価基準	1. 課題 30 %	実際のお客様の一生に一度の結婚式を手掛けることへの責任、自身のモチベーション もっと素敵な結婚式にするための情報、企画、提案、実現力 夢を叶える仕事におけるビジネス感覚							
	2. 授業姿勢 30 %	積極性・協調性・創造性・実現力・責任感・リーダーシップ・ドキュメント力							
	3. テストその他 40 %	授業内容に対するレポート ブライダルストーリーに向けての準備資料 授業以外におけるアイデア等からの企画書、提案書							
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検 定・課外 授業実 施予定・ その他	ブライダルストーリー								

科目名	オンライン国際協働学習ⅡA						学期	前 期	
担当教員	大石 / LYU	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	選択必修	単位数	1
学習目的	①異文化理解 ②英語コミュニケーション力向上								
授業内容	海外の学生と、共通のテーマで課題解決を実施し、企画案をプレゼンテーションする（英語使用）								
学習目標	国際交流の場で英語で相手の話を理解できる。自分の考えを海外の学生に伝えることができる。海外の学生の異なる視点や考えを知る。								
使用テキスト	授業時に資料を配布								
週数	授業計画								
1	イントロダクション:国際交流準備								
2	試食会・強み洗い出し								
3	With the World ① 富山の魅力発信								
4	強み分析・マーケットトレンド調査								
5	インタビュー活動準備・練習・振り返り								
6	With the World ② インタビュー活動								
7	インタビュー活動振り返り								
8	企業向けに商品提案作成								
9	With the World ③ 第一回 提案づくり発表								
10	アイデア提案 ローカライズ・訴求力								
11	With the World ④ 第二回 提案づくり発表								
12	商品提案にもとづいたブラッシュアップ								
13	最終提案プレゼン準備・練習・振り返り								
14	With the World⑤ 企業への最終プレゼンテーション								
15	学習振り返り								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	20 %	①課題への取組で評価						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席有無 ②受講マナー ③間違いを恐れない積極的姿勢 ④各種表現を自分のスキルとして定着しようとする努力・工夫的 ⑤ペアやグループによるの発表						
	3. テストその他	50 %	①中間発表②期末発表						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります								

科目名	Speak Out I A						学期	前期	
担当教員	LYU EDWARD	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	実践的に話す力が向上することを目的とする								
授業内容	ペアワーク、グループワーク、プレゼンテーションを行い、基礎的会話表現を修得								
学習目標	基礎的会話表現をマスターし、自己表現と対人コミュニケーションを行なうための英語力をつける								
使用テキスト	授業時に資料を配布								
週数	授業計画								
1	Course Orientation and Self-Introduction / ガイダンス・自己紹介								
2	Dreams and Goals / 夢と目標								
3	Describing Your Routine / 日課について								
4	Discussing World Culture / 世界の文化について								
5	Expressing Your Opinions / 自分の意見を述べる								
6	Comparisons and Observations / 比較と観察								
7	Rules and Regulations / 規則と決まり								
8	Midterm Examination / 中間テスト								
9	Previous Experiences / これまでの経験								
10	Describing the Past / 過去の出来事について								
11	Your Current Self / 今の自分								
12	Expressing Choice and Preferences / 選択と好みの表現								
13	Conditions and Time / 条件と時間								
14	Review for the Final Examination / 期末テストの復習								
15	End of Term Examination / 期末テスト								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	20 %	①課題への取組で評価						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席有無 ②受講マナー ③間違いを恐れない積極的姿勢 ④各種表現を自分のスキルとして定着しようとする努力・工夫的 ⑤ペアやグループによるの発表						
	3. テストその他	50 %	①中間スピーキングテスト②期末スピーキングテスト						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	TOEIC IP テスト								

科目名	Speak Out I B						学期	後 期	
担当教員	LYU EDWARD	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	実践的に話す力が向上することを目的とする								
授業内容	ペアワーク、グループワーク、プレゼンテーションを行い、基礎的会話表現を修得								
学習目標	基礎的会話表現をマスターし、自己表現と対人コミュニケーションを行なうための英語力をつける								
使用テキスト	授業時に資料を配布								
週数	授業計画								
1	Vacation Memories and Review / 休暇の思い出と復習								
2	Social Media and Technology / SNSとテクノロジー								
3	Music and Emotions / 音楽と感情								
4	Personality Quiz and Dealing With Problems / 性格診断と問題解決								
5	Superlatives and Being the Best / 最上級の表現と「一番」について								
6	Extremes and Phobias / 極限状態と恐怖症								
7	Travelling / 旅行								
8	Midterm Examination / 中間テスト								
9	Debating Rules / 規則についてのディベート								
10	Thinking Positively / ポジティブ思考								
11	Life Changes / 生活の変化								
12	Expressing Opinions / 意見の表明								
13	Giving a Review / レビュー・講評								
14	Review for the Final Examination / 期末テストの復習								
15	End of Term Examination / 期末テスト								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	20 %	①課題への取組で評価						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席有無 ②受講マナー ③間違いを恐れない積極的姿勢 ④各種表現を自分のスキルとして定着しようとする努力・工夫的 ⑤ペアやグループによるの発表						
	3. テストその他	50 %	①中間スピーキングテスト②期末スピーキングテスト						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	TOEIC IP テスト								

科目名	Speak Out II A						学期	前期	
担当教員	LYU EDWARD	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	選択必修	単位数	1
学習目的	実践的に話す力が向上することを目的とする								
授業内容	ペアワーク、グループワーク、プレゼンテーションを行い、基礎的会話表現を修得								
学習目標	基礎的会話表現をマスターし、自己表現と対人コミュニケーションを行なうための英語力をつける								
使用テキスト	授業時に資料を配布								
週数	授業計画								
1	Pitching a Product / 商品の売り込み								
2	Predictions / 予想								
3	Chance and Possibility / 機会と可能性								
4	Hopes and Wishes / 希望と願い								
5	Explaining a Process / 手順・プロセスの説明								
6	Food Culture and Dining Out / 食文化と外食								
7	Health Awareness / 健康意識								
8	Midterm Examination / 中間テスト								
9	Following Instructions / 指示に従う・聞き取り								
10	Telling a Story / 物語を伝える								
11	Describing Your Ideal Person / 理想の人物像								
12	Teaching Japanese Culture / 日本語文化を教える・伝える								
13	Managing Stress / ストレス管理								
14	Review for the Final Examination / 期末テストの復習								
15	End of Term Examination / 期末テスト								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	20 %	①課題への取組で評価						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席有無 ②受講マナー ③間違いを恐れない積極的姿勢 ④各種表現を自分のスキルとして定着しようとする努力・工夫的 ⑤ペアやグループによるの発表						
	3. テストその他	50 %	①中間スピーキングテスト②期末スピーキングテスト						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	TOEIC IP テスト								

科目名	Speak Out II B						学期	後 期	
担当教員	LYU EDWARD	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	選択必修	単位数	1
学習目的	実践的に話す力が向上することを目的とする								
授業内容	ペアワーク、グループワーク、プレゼンテーションを行い、基礎的会話表現を修得								
学習目標	基礎的会話表現をマスターし、自己表現と対人コミュニケーションを行なうための英語力をつける								
使用テキスト	授業時に資料を配布								
週数	授業計画								
1	Giving Opinions & Agreeing / Disagreeing / 意見を述べる・賛成反対								
2	Expressing Emotions & Feelings / 感情の表現								
3	Making Suggestions & Giving Advice / 提案・助言をする								
4	Solving Problems Together / 問題解決								
5	Talking About Mistakes & Failure / 失敗・反省について話す								
6	Debating Simple Topics / 簡単なディベート								
7	Cross-Cultural Communication / 異文化コミュニケーション								
8	Midterm Examination / 中間テスト								
9	Interview Skills & Self-Introduction (Advanced) / 面接・自己紹介（応用）								
10	Talking About News & Current Topics / ニュース・時事問題								
11	Social Media & Digital Communication / SNSとデジタルコミュニケーション								
12	Persuasion & Influencing Others / 説得・影響を与える話し方								
13	Handling Difficult Conversations / 難しい会話への対応								
14	Review for the Final Examination / 期末テストの復習								
15	End of Term Examination / 期末テスト								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	20 %	①課題への取組で評価						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席有無 ②受講マナー ③間違いを恐れない積極的姿勢 ④各種表現を自分のスキルとして定着しようとする努力・工夫的 ⑤ペアやグループによるの発表						
	3. テストその他	50 %	①中間スピーキングテスト②期末スピーキングテスト						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	TOEIC IP テスト								

科目名	English Presentation I A						学期	前 期	
担当教員	LYU EDWARD	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	国際的なコミュニケーション能力の向上を目的とする								
授業内容	プレゼンテーションを行い、基礎的会話表現を修得								
学習目標	英語を活用し自己表現ができるようになる								
使用テキスト	授業時に資料を配布								
週数	授業計画								
1	Course Orientation and Self-Introduction / ガイダンス・自己紹介								
2	Your Role Model / 尊敬する人物								
3	Your Favorite Cuisine / お気に入りの料理・食文化								
4	Your Future / 自分の将来について								
5	Your Choice / 自分の選択								
6	Your Most Memorable Place / 最も思い出深い場所								
7	Midterm Examination Preparation / 中間テストの準備								
8	Midterm Examination / 中間テスト								
9	Your Opinions on Social Issues / 社会問題に対する自分の意見								
10	Your Home / 私の地元・故郷								
11	Your Data Collection Survey (1) - Implementation / データ収集調査(1)－実査・アンケート実施								
12	Your Data Collection Survey (2) - Data Processing / データ収集調査(2)－データ集計・分析								
13	Your Data Collection Survey (3) - Presentation / データ収集調査(3)－発表・プレゼン								
14	Review for the Final Examination / 期末試験の復習								
15	End of Term Examination / 期末テスト								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	20 %	①課題への取組で評価						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席有無 ②受講マナー ③間違いを恐れない積極的姿勢 ④各種表現を自分のスキルとして定着しようとする努力・工夫的 ⑤ペアやグループによるの発表						
	3. テストその他	50 %	①中間発表②期末発表						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	TOEIC IP テスト								

科目名	English Presentation I B						学期	後 期	
担当教員	LYU EDWARD	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	国際的なコミュニケーション能力の向上を目的とする								
授業内容	プレゼンテーションを行い、基礎的会話表現を修得								
学習目標	英語を活用し自己表現ができるようになる								
使用テキスト	授業時に資料を配布								
週数	授業計画								
1	Presentation Design and Skills (1) / プレゼンテーションの構成と話し方								
2	Presentation Design and Skills (2) / プレゼンテーションの構成と話し方								
3	Your App Recommendation (1) / おすすめアプリの紹介								
4	Your App Recommendation (2) / おすすめアプリの紹介								
5	Your Ideal Superpower (1) / 理想の超能力								
6	Your Ideal Superpower (2) / 理想の超能力								
7	Midterm Examination Preparation / 中間テスト準備								
8	Midterm Examination / 中間テスト								
9	Your World Problem Views (1) / 世界の問題に対するあなたの考え								
10	Your World Problem Views (2) / 世界の問題に対するあなたの考え								
11	Your Life Changes (1) / あなたの人生の変化								
12	Your Life Changes (2) / あなたの人生の変化								
13	Presentation Design and Skills (3) // プレゼンテーションの構成と話し方								
14	Review for the Final Examination / 期末試験の復習								
15	End of Term Examination / 期末テスト								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	20 %	①課題への取組で評価						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席有無 ②受講マナー ③間違いを恐れない積極的姿勢 ④各種表現を自分のスキルとして定着しようとする努力・工夫的 ⑤ペアやグループによるの発表						
	3. テストその他	50 %	①中間発表②期末発表						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	TOEIC IP テスト								

科目名	English Presentation II A						学期	前 期	
担当教員	LYU EDWARD	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	選択必修	単位数	1
学習目的	国際的なコミュニケーション能力の向上を目的とする								
授業内容	プレゼンテーションを行い、基礎的会話表現を修得								
学習目標	英語を活用し自己表現ができるようになる								
使用テキスト	授業時に資料を配布								
週数	授業計画								
1	Your Movie Review / おすすめ映画レビュー								
2	Your New Invention for the World / 世界を変える新しい発明								
3	Your 'How to' Tutorial / 誰でもできる！ハウツー講座								
4	Your Recommended Japanese Culture / 私が推す日本の文化								
5	Your Unpopular Opinion / 私だけの「少数派」の意見								
6	Your Own Country / 自分が国を作ったら								
7	Midterm Examination Preparation / 中間テスト準備								
8	Midterm Examination / 中間テスト								
9	Your Last Meal / 人生最後の日の食事								
10	Your Best Time Period / 自分にとっての「黄金時代」								
11	Your Time Capsule / 100年後に残したいタイムカプセル								
12	Your Other Life / もしも別の人生を歩んでいたら								
13	Your Message to You / 未来の自分へのメッセージ								
14	Review for the Final Examination / 期末テストの復習								
15	End of Term Examination / 期末テスト								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	20 %	①課題への取組で評価						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席有無 ②受講マナー ③間違いを恐れない積極的姿勢 ④各種表現を自分のスキルとして定着しようとする努力・工夫的 ⑤ペアやグループによるの発表						
	3. テストその他	50 %	①中間発表②期末発表						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	TOEIC IP テスト								

科目名	English Presentation II B						学期	後 期	
担当教員	LYU EDWARD	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	選択必修	単位数	1
学習目的	国際的なコミュニケーション能力の向上を目的とする								
授業内容	プレゼンテーションを行い、基礎的会話表現を修得								
学習目標	英語を活用し自己表現ができるようになる								
使用テキスト	授業時に資料を配布								
週数	授業計画								
1	Your Favorite Place in Japan / 日本で一番好きな場所								
2	Your Dream Product or Service / 理想の商品・サービス								
3	Your Life Hack / あなたの便利なライフハック								
4	Your Culture Shock Experience / カルチャーショック体験								
5	Your Opinion That Changed Over Time / 考えが変わった意見								
6	Your Ideal Future Lifestyle / 理想の将来のライフスタイル								
7	Midterm Examination Preparation / 中間テスト準備								
8	Midterm Examination / 中間テスト								
9	Your Personal Hero / あなたのヒーロー								
10	Your Biggest Challenge So Far / 今までで一番の挑戦								
11	Your Perfect Day / 理想の一日								
12	Your Turning Point / 人生の転機								
13	Your Advice to New University Students / 新入生へのアドバイス								
14	Review for the Final Examination / 期末テストの復習								
15	End of Term Examination / 期末テスト								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	20 %	①課題への取組で評価						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席有無 ②受講マナー ③間違いを恐れない積極的姿勢 ④各種表現を自分のスキルとして定着しようとする努力・工夫的 ⑤ペアやグループによるの発表						
	3. テストその他	50 %	①中間発表②期末発表						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	TOEIC IP テスト								

科目名	JLPT I A						学期	前期	
担当教員	長津 千紗季	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	選択必修	単位数	2
学習目的	試験問題の練習・対策を通し、日本語能力試験(JLPT)の合格を目指す								
授業内容	確認テスト、テキストを進めることで試験対策を行う。文法・読解の具体的な解法について学ぶ								
学習目標	N2合格を目指す								
使用テキスト	読む聞く考える日本語トレーニング・TRY!日本語能力試験N2								
週数	授業計画								
1	文法1～3／読解1・聴解1								
2	文法4～6／読解2・聴解2								
3	文法7～9／読解3・聴解3								
4	日本語能力試験模擬問題								
5	文法10～12／読解4・聴解4								
6	文法13～15／読解5・聴解5								
7	文法16～18／読解6・聴解6								
8	日本語能力試験模擬問題								
9	文法19～21／読解7・聴解7								
10	文法22～24／読解8・聴解8								
11	文法25～27／読解9・聴解9								
12	文法28～30／読解10・聴解10								
13	文法31～33／読解11・聴解11								
14	日本語能力試験模擬問題								
15	日本語能力試験模擬問題								
	評価内容								
評価基準	1. 課題	30 %	事前学習の取組状況、授業中に取り組む課題の取組状況						
	2. 授業姿勢	30 %	遅刻・欠席がないか、授業へ積極的に参加しているか						
	3. テストその他	40 %	確認テスト結果						
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他	日本語能力試験								

科目名	JLPT I B						学期	後 期	
担当教員	長津 千紗季	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	選択必修	単位数	2
学習目的	試験問題の練習・対策を通し、日本語能力試験(JLPT)の合格を目指す								
授業内容	確認テスト、テキストを進めることで試験対策を行う。文法・読解の具体的な解法について学ぶ								
学習目標	N2合格を目指す								
使用テキスト	読む聞く考える日本語トレーニング・TRY!日本語能力試験N2								
週数	授業計画								
1	文法34～36／読解12・聴解12								
2	文法37～39／読解13・聴解13								
3	文法40～42／読解14・聴解14								
4	日本語能力試験模擬問題								
5	文法43～45／読解15・聴解15								
6	文法46～48／読解16・聴解16								
7	文法49～51／読解17・聴解17								
8	日本語能力試験模擬問題								
9	文法52～54／読解18・聴解18								
10	文法55～57／読解19・聴解19								
11	文法58～60／読解20・聴解20								
12	文法61～63／読解21・聴解21								
13	文法64～66／読解22・聴解22								
14	日本語能力試験模擬問題								
15	日本語能力試験模擬問題								
	評価内容								
評価基準	1. 課題	30 %	事前学習の取組状況、授業中に取り組む課題の取組状況						
	2. 授業姿勢	30 %	遅刻・欠席がないか、授業へ積極的に参加しているか						
	3. テストその他	40 %	確認テスト結果						
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他	日本語能力試験								

科目名	サービス接遇 I A						学期	前期	
担当教員	長谷川万葉	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	選択必修	単位数	1
学習目的	ホテル業界・ブライダル業界に必要なサービス接遇の心構えを学習する。								
授業内容	ホテル業界・ブライダル業界に必要な顧客に満足を与える行動をサービス接遇の観点から学ぶ。								
学習目標	ホテル業界・ブライダル業界に必要なサービス接遇の知識と行動基本姿勢を理解する。								
使用テキスト	サービス接遇検定3級公式ガイド								
週数	授業計画								
1	3級学習 サービススタッフの資質①（必要とされる要件ほか）								
2	3級学習 サービススタッフの資質②（従業要件ほか）								
3	3級学習 専門知識①（サービスの知識ほか）								
4	3級学習 専門知識②（従業の知識ほか）								
5	3級学習 一般知識（社会常識ほか）								
6	3級学習 対人技能①（人間関係ほか）								
7	3級学習 対人技能②（接遇知識ほか）								
8	3級学習 対人技能③（話し方ほか）								
9	3級学習 対人技能④（服装ほか）								
10	3級学習 実務技能①（問題処理ほか）								
11	3級学習 実務技能②（環境整備ほか）								
12	3級学習 実務技能③（金品管理ほか）								
13	3級学習 実務技能④（社交業務ほか）								
14	3級学習 まとめ①								
15	3級学習 まとめ②								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	30 %	演習課題への取り組み姿勢						
	2. 授業姿勢	30 %	出席状況・授業態度・言葉遣い						
	3. テストその他	40 %	実技試験と期末試験の総合判定						
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他	サービス接遇検定 11月 検定目標3級								

科目名	サービス接遇 I B						学期	後 期	
担当教員	長谷川万葉	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	選択必修	単位数	1
学習目的	ホテル業界・ブライダル業界に必要なサービス接遇の心構えを学習する。								
授業内容	ホテル業界・ブライダル業界に必要な顧客に満足を与える行動をサービス接遇の観点から学ぶ								
学習目標	ホテル業界・ブライダル業界に必要なサービス接遇の知識と行動基本姿勢を理解する								
使用テキスト	適宜、プリントを使用								
週数	授業計画								
1	2級学習 専門知識 ① (サービ知識ほか)								
2	2級学習 専門知識 ② (従業知識ほか)								
3	2級学習 一般知識 (社会常識ほか)								
4	2級学習 対人技能 ① (人間関係ほか)								
5	2級学習 対人技能 ② (接遇知識ほか)								
6	2級学習 対人技能 ③ (話し方ほか)								
7	2級学習 対人技能 ④ (服装ほか)								
8	2級学習 実務技能 ① (問題処理ほか)								
9	2級学習 実務技能 ② (環境整備ほか)								
10	2級学習 実務技能 ③ (金品管理ほか)								
11	2級学習 実務技能 ④ (金品搬送ほか)								
12	2級学習 実務技能 ⑤ (社交業務ほか)								
13	準1級 基本言動 ① (入室ほか)								
14	準1級 基本言動 ②								
15	準1級 基本言動 ③								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	30 %	演習課題への取り組み姿勢						
	2. 授業姿勢	30 %	出席状況・授業態度・言葉遣い						
	3. テストその他	40 %	実技試験と期末試験の総合判定						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	サービス接遇検定 11月 検定目標2級								

科目名	サービス接遇 I A(留学生)						学期	前期	
担当教員	長谷川万葉	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	選択必修	単位数	1
学習目的	ホテル業界・ブライダル業界に必要なサービス接遇の心構えを学習する。								
授業内容	ホテル業界・ブライダル業界に必要な顧客に満足を与える行動をサービス接遇の観点から学ぶ。								
学習目標	ホテル業界・ブライダル業界に必要なサービス接遇の知識と行動基本姿勢を理解する。								
使用テキスト	サービス接遇検定3級公式ガイド								
週数	授業計画								
1	3級学習 サービススタッフの資質①(必要とされる要件ほか)								
2	3級学習 サービススタッフの資質②(従業要件ほか)								
3	3級学習 専門知識①(サービスの知識ほか)								
4	3級学習 専門知識②(従業の知識ほか)								
5	3級学習 一般知識(社会常識ほか)								
6	3級学習 対人技能①(人間関係ほか)								
7	3級学習 対人技能②(接遇知識ほか)								
8	3級学習 対人技能③(話し方ほか)								
9	3級学習 対人技能④(服装ほか)								
10	3級学習 実務技能①(問題処理ほか)								
11	3級学習 実務技能②(環境整備ほか)								
12	3級学習 実務技能③(金品管理ほか)								
13	3級学習 実務技能④(社交業務ほか)								
14	3級学習 まとめ①								
15	3級学習 まとめ②								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	30 %	演習課題への取り組み姿勢						
	2. 授業姿勢	30 %	出席状況・授業態度・言葉遣い						
	3. テストその他	40 %	実技試験と期末試験の総合判定						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	サービス接遇検定 11月 検定目標3級								

科目名	サービス接遇 I B (留学生)						学期	後 期	
担当教員	長谷川万葉	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	選択必修	単位数	1
学習目的	ホテル業界・ブライダル業界に必要なサービス接遇の心構えを学習する。								
授業内容	ホテル業界・ブライダル業界に必要な顧客に満足を与える行動をサービス接遇の観点から学ぶ。								
学習目標	ホテル業界・ブライダル業界に必要なサービス接遇の知識と行動基本姿勢を理解する。								
使用テキスト	サービス接遇検定3級公式ガイド								
週数	授業計画								
1	3級過去問対策								
2	3級過去問対策								
3	3級過去問対策								
4	3級過去問対策								
5	3級過去問対策								
6	3級過去問対策								
7	3級過去問対策								
8	3級過去問対策								
9	3級過去問対策								
10	3級過去問対策								
11	3級過去問対策								
12	検定振り返り								
13	接客とビジネスマナー								
14	接客とビジネスマナー								
15	接客とビジネスマナー								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	30 %	演習課題への取り組み姿勢						
	2. 授業姿勢	30 %	出席状況・授業態度・言葉遣い						
	3. テストその他	40 %	実技試験と期末試験の総合判定						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	サービス接遇検定 11月 検定目標3級								

科目名	サービス接遇ⅡA						学期	前 期	
担当教員	高野直人	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	選択必修	単位数	1
学習目的	ホテル業界・ブライダル業界に必要なサービス接遇の心構えを学習する								
授業内容	ホテル業界・ブライダル業界に必要な顧客に満足を与える行動をサービス接遇の観点から学ぶ								
学習目標	ホテル業界・ブライダル業界に必要なサービス接遇の知識と行動基本姿勢を理解する								
使用テキスト	サービス接遇検定受験ガイド								
週数	授業計画								
1	準1級 接客応答								
2	準1級 接客応答								
3	準1級 接客応答								
4	準1級 接客応答								
5	準1級 接客応答								
6	準1級 接客対応								
7	準1級 接客対応								
8	準1級 接客対応								
9	準1級検定対策総仕上げ								
10	準1級検定対策総仕上げ								
11	1級 サービススタッフの資質								
12	1級 サービススタッフの資質								
13	1級 専門知識(サービス知識)								
14	1級 専門知識(サービス知識)								
15	1級 専門知識(サービス知識)								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	30 %	演習課題の取組姿勢						
	2. 授業姿勢	30 %	出席状況・授業態度・言葉遣い						
	3. テストその他	40 %	実技試験と期末試験の総合判定						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	サービス接遇検定 検定目標1級合格								

科目名	サービス接遇ⅡB						学期	後 期	
担当教員	高野直人	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	選択必修	単位数	1
学習目的	ホテル業界・ブライダル業界に必要なサービス接遇の心構えを学習する								
授業内容	ホテル業界・ブライダル業界に必要な顧客に満足を与える行動をサービス接遇の観点から学ぶ								
学習目標	ホテル業界・ブライダル業界に必要なサービス接遇の知識と行動基本姿勢を理解する								
使用テキスト	サービス接遇検定受験ガイド								
週数	授業計画								
1	1級 専門知識 (従業知識)								
2	1級 専門知識 (従業知識)								
3	1級 専門知識 (従業知識)								
4	1級 対人技能 (人間関係ほか)								
5	1級 対人技能 (人間関係ほか)								
6	1級 対人技能 (人間関係ほか)								
7	1級 対人技能 (接遇知識ほか)								
8	1級 対人技能 (接遇知識ほか)								
9	1級 対人技能 (接遇知識ほか)								
10	1級 一般知識 (社会常識)								
11	1級 一般知識 (社会常識)								
12	1級 実務技能 (問題処理ほか)								
13	1級 実務技能 (問題処理ほか)								
14	1級 実務技能 (金品搬送ほか)								
15	1級 実務技能 (金品搬送ほか)								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	30 %	演習課題の取組姿勢						
	2. 授業姿勢	30 %	出席状況・授業態度・言葉遣い						
	3. テストその他	40 %	実技試験と期末試験の総合判定						
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他	サービス接遇検定 検定目標1級合格								

科目名	ICT演習 I A						学期	前 期	
担当教員	非常勤	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	選択必修	単位数	1
学習目的	企業においてITを利活用する実践的な知識・スキルを学習する								
授業内容	企業において必須の技術である表計算ソフト、エクセルを用いて実践的な資料を作成する技術を身につける								
学習目標	エクセルを使用して、データ作成・グラフ作成・簡単な関数を用いた計算ができる								
使用テキスト	Excelクイックマスター基本編・Excel®表計算処理技能認定試験3級問題集								
週数	授業計画								
1	第1章Excelの基礎知識								
2	第2章Excel入門								
3	第3章ワークシートの活用(1)								
4	第3章ワークシートの活用(1)								
5	第3章ワークシートの活用(1)								
6	第4章ワークシートの活用(2) セルの絶対参照								
7	第4章ワークシートの活用(2) セルの絶対参照								
8	第4章ワークシートの活用(2) 端数処理								
9	第4章ワークシートの活用(2) 端数処理								
10	第4章ワークシートの活用(2) IF関数								
11	第4章ワークシートの活用(2) IF関数								
12	第5章グラフ(1)								
13	第5章グラフ(2)複合グラフ								
14	第7章データベース オートフィルタ・並べ替え								
15	第7章データベース オートフィルタ・並べ替え								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	40 %	各授業における課題提出(期限厳守) 確認テスト結果						
	2. 授業姿勢	30 %	授業への積極参加 クラスへの協力度 教科書、パソコンその他忘れ物の有無						
	3. テストその他	30 %	検定を受験する学科は検定結果 受験しない学科はテスト結果						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・ 課外授業 実施予定・ その他	サーティファイExcel3級								

科目名	ICT演習 I B						学期	後 期	
担当教員	非常勤	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	選択必修	単位数	1
学習目的	企業においてITを利活用する実践的な知識・スキルを学習する								
授業内容	企業において必須の技術である表計算ソフト、エクセルを用いて実践的な資料を作成する技術を身につける								
学習目標	エクセルを使用して、データ作成・グラフ作成・簡単な関数を用いた計算ができる								
使用テキスト	Excelクイックマスター基本編・Excel®表計算処理技能認定試験3級問題集								
週数	授業計画								
1	前期範囲の復習								
2	演習問題								
3	演習問題								
4	演習問題								
5	演習問題								
6	第7章データベース ※ピボットテーブル追加								
7	第7章データベース ※ピボットテーブル追加								
8	第8章Excelの応用 VLOOKUP・HLOOKUP・INDEX								
9	第8章Excelの応用 VLOOKUP・HLOOKUP・INDEX								
10	第8章Excelの応用 データベース関数・条件付き集計								
11	第8章Excelの応用 データベース関数・条件付き集計								
12	試験対策問題								
13	試験対策問題								
14	試験対策問題								
15	試験対策問題								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	40 %	各授業における課題提出(期限厳守) 確認テスト結果						
	2. 授業姿勢	30 %	授業への積極参加 クラスへの協力度 教科書、パソコンその他忘れ物の有無						
	3. テストその他	30 %	検定を受験する学科は検定結果 受験しない学科はテスト結果						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	サーティファイExcel3級								

科目名	プレゼンテーション I A						学期	前	期
担当教員	非常勤	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	選択必修	単位数	1
学習目的	企画提案をはじめとする伝達能力全般の向上を目的とする								
授業内容	パワーポイントの使い方から文章のまとめ方、訴え方などプレゼンテーションに必要な基本的知識を身に付ける								
学習目標	企画提案をはじめとする伝達能力全般の向上を目標とする								
使用テキスト	オリジナル								
週数	授業計画								
1	プレゼンテーションとは？								
2	プレゼンテーションの基本(パワーポイントの基本)								
3	プレゼンテーションの基本(効果的なプレゼンテーション資料作成 図・グラフ・アニメーション/テキスト)								
4	個人発表課題 ・テーマを考える(時間、目的、聞き手) ・素材を集める(自分の言いたいことを裏付ける、聞き手を引き付ける) ・構成を考える								
5	個人発表課題 パワーポイント制作①								
6	個人発表課題 パワーポイント制作②								
7	2年生の実習報告会①(聴く、考える、質問する)								
8	2年生の実習報告会②(聴く、考える、質問する)								
9	個人発表課題 発表								
10	グループ発表課題 ・テーマを考える(時間、目的、聞き手) ・素材を集める(自分の言いたいことを裏付ける、聞き手を引き付ける) ・構成を考える								
11	グループ発表課題 パワーポイント制作①								
12	グループ発表課題 パワーポイント制作②								
13	グループ発表課題 発表								
14	プレゼンテーションの事例・テンプレート①								
15	プレゼンテーションの事例・テンプレート② まとめ								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	40 %	・授業内課題の提出 ・宿題課題の提出(期限までの提出状況)						
	2. 授業姿勢	30 %	・授業への参加状況(出席や受講態度、忘れ物および積極的な取り組み度)						
	3. テストその他	30 %	・期末試験結果 ・課題の達成度						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	実習報告会								

科目名	プレゼンテーション I B						学期	後 期	
担当教員	非常勤	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	選択必修	単位数	1
学習目的	企画提案をはじめとする伝達能力全般の向上を目的とする								
授業内容	パワーポイントの使い方から文章のまとめ方、訴え方などプレゼンテーションに必要な基本的知識を身に付ける								
学習目標	企画提案をはじめとする伝達能力全般の向上を目標とする								
使用テキスト	オリジナル								
週数	授業計画								
1	インターンシッププレゼン制作								
2	インターンシッププレゼン制作								
3	インターンシッププレゼン制作								
4	インターンシッププレゼン制作								
5	プレゼン発表練習								
6	プレゼン発表練習								
7	プレゼン発表練習								
8	プレゼン発表練習								
9	インターンシッププレゼン								
10	インターンシッププレゼン								
11	インターンシッププレゼン								
12	インターンシッププレゼン								
13	インターンシッププレゼン								
14	インターンシッププレゼン								
15	インターンシッププレゼン								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	40 %	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業内課題の提出</li> <li>宿題課題の提出(期限までの提出状況)</li> </ul>						
	2. 授業姿勢	30 %	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業への参加状況(出席や受講態度、忘れ物および積極的な取り組み度)</li> </ul>						
	3. テストその他	30 %	<ul style="list-style-type: none"> <li>期末試験結果</li> <li>課題の達成度</li> </ul>						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	実習報告会								

科目名	フラワーアレンジメント I A						学期	前 期	
担当教員	齊藤 陽子	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	婚礼に必要な知識としてブライダルシーンでのフラワーアレンジやブーケの基本テクニックを習得する								
授業内容	フラワーアレンジメントの歴史や基本的な技法を知りブライダルシーンでのアレンジやブーケを製作								
学習目標	様々な花の種類に合ったアレンジができるようになる								
使用テキスト	オリジナルテキスト								
週数	授業計画								
1	ファンデーションワークとミニブーケ(生花)								
2	ファンデーションワークとミニブーケ(生花)								
3	ラウンドアレンジ(生花)								
4	ラウンドアレンジ(生花)								
5	ラウンドアレンジ(プリザ)								
6	ラウンドアレンジ(プリザ)								
7	ワイヤリング&テーピング コサージュ作り(生花)								
8	ワイヤリング&テーピング コサージュ作り(生花)								
9	ラウンド花束・スパイラル(生花)								
10	ラウンド花束・スパイラル(生花)								
11	ギフトアレンジ BOXフラワー(生花)								
12	ギフトアレンジ BOXフラワー(生花)								
13	キャンドルフラワー(生花)								
14	キャンドルフラワー(生花)								
15	パーティーフラワー(生花)								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	30 %	*授業内課題の提出						
	2. 授業姿勢	30 %	*授業への参加状況(出席や受講態度、忘れ物および積極的な取り組み度)						
	3. テストその他	40 %	*課題の達成度						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	ブライダルストーリー								

科目名	インターンシップ(国内) I A						学期	後 期	
担当教員	高野 直人	科目区分	専門	授業方法	実習・実技	分類	必修	単位数	2
学習目的	授業で学んだホテルの知識を確認することを目的に現場で実践躬行することを目的とする								
授業内容	現場の雰囲気、仕事内容を体験し、ホテル・ブライダル業界の実態について学習する								
学習目標	授業で学んだ知識を活かし、また机上の学習とのギャップを理解する。								
使用テキスト	オリジナルテキスト								
週数	授業計画								
1	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
2	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
3	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
4	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
5	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
6	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
7	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
8	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
9	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
10	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
11	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
12	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
13	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
14	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
15	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	70 %	授業内の課題取組						
	2. 授業姿勢	30 %	言葉づかい、態度、マナー						
	3. テストその他	0 %	なし						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	インターンシップ								

科目名	インターンシップ(国内)ⅡA						学期	前期	
担当教員	高野 直人	科目区分	専門	授業方法	実習・実技	分類	必修	単位数	4
学習目的	授業で学んだホテルの知識を確認することを目的に現場で実践躬行することを目的とする								
授業内容	現場の雰囲気、仕事内容を体験し、ホテル・ブライダル業界の実態について学習する								
学習目標	授業で学んだ知識を活かし、また机上の学習とのギャップを理解する。								
使用テキスト	オリジナルテキスト								
週数	授業計画								
1	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
2	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
3	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
4	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
5	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
6	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
7	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
8	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
9	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
10	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
11	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
12	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
13	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
14	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
15	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	70 %	授業内の課題取組						
	2. 授業姿勢	30 %	言葉づかい、態度、マナー						
	3. テストその他	0 %	なし						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	インターンシップ								

科目名	インターンシップ(留学生)ⅡA						学期	前期	
担当教員	高野 直人	科目区分	専門	授業方法	実習・実技	分類	選択必修	単位数	6
学習目的	授業で学んだホテルの知識を確認することを目的に現場で実践躬行することを目的とする								
授業内容	現場の雰囲気、仕事内容を体験し、ホテル・ブライダル業界の実態について学習する								
学習目標	授業で学んだ知識を活かし、また机上の学習とのギャップを理解する。								
使用テキスト	オリジナルテキスト								
週数	授業計画								
1	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
2	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
3	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
4	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
5	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
6	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
7	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
8	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
9	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
10	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
11	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
12	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
13	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
14	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
15	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	70 %	授業内の課題取組						
	2. 授業姿勢	30 %	言葉づかい、態度、マナー						
	3. テストその他	0 %	なし						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	インターンシップ								

科目名	インターンシップ(留学生)ⅡB						学期	後 期	
担当教員	高野 直人	科目区分	専門	授業方法	実習・実技	分類	選択必修	単位数	6
学習目的	授業で学んだホテルの知識を確認することを目的に現場で実践躬行することを目的とする								
授業内容	現場の雰囲気、仕事内容を体験し、ホテル・ブライダル業界の実態について学習する								
学習目標	授業で学んだ知識を活かし、また机上の学習とのギャップを理解する。								
使用テキスト	オリジナルテキスト								
週数	授業計画								
1	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
2	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
3	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
4	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
5	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
6	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
7	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
8	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
9	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
10	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
11	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
12	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
13	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
14	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
15	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	70 %	授業内の課題取組						
	2. 授業姿勢	30 %	言葉づかい、態度、マナー						
	3. テストその他	0 %	なし						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	インターンシップ								

科目名	インターンシップ(海外)ⅡA						学期	後	期
担当教員	高野 直人	科目区分	専門	授業方法	実習・実技	分類	選択必修	単位数	10
学習目的	外国人旅行者の一人ひとりにあつた的確な対応と提案から「顧客創造」を実現できる人材の育成を目的とする								
授業内容	オーストラリアでのワーキングホリデーと観光を通して課題を進める								
学習目標	富山県とオーストラリアの観光地を体験、考察し新たな観光プランを創出する								
使用テキスト	オリジナルテキスト								
週数	授業計画								
1	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる／ワーキングホリデー								
2	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる／ワーキングホリデー								
3	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる／ワーキングホリデー								
4	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる／ワーキングホリデー								
5	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる／ワーキングホリデー								
6	ビジネスモデルとは いろいろな業界のビジネスモデルについて								
7	観光業の商品(サービス)の構成								
8	売上・経費・利益の仕組み								
9	利用者の分析 (利用者の属性)								
10	観光スポット体験								
11	観光スポット体験								
12	アクティビティ体験								
13	アクティビティ体験								
14	オーストラリアの観光スポットやアクティビティの分析								
15	オーストラリアの観光スポットやアクティビティの分析								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	70 %	授業内の課題取組						
	2. 授業姿勢	30 %	言葉づかい、態度、マナー						
	3. テストその他	0 %	なし						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	ワーキングホリデー								

科目名	表現力 I A						学期	前	期
担当教員	長谷川万葉	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
学習目的	子音を通して人とのふれあいを体験し、より良いコミュニケーションを築く。社会において活用できるコミュニケーション能力やソーシャルスキルを身に付ける。「人と対話できる」「チームで協働できる」「相手に伝わる表現力を持ち、人前で堂々と発表できる」「社会において自分らしさを発揮しつつ、より良い集団づくりに貢献できること」を目指す。								
授業内容	コミュニケーショントレーニングや演劇的手法を取り入れたワーク(応用インプロ、シアターゲーム)、ソーシャルスキルトレーニング、構成的グループエンカウンター等のグループワークを通して、コミュニケーションを実践的に楽しく学ぶ。多様な人とのふれあいの中で、自己を知り他者を理解する自己発見の場とする。								
学習目標	学習を通して、明るい表情、正しい姿勢、相手に伝わる声、開かれた心等、接客やビジネスにもつながる健やかな心と体を育てる。人と関わり合うことの楽しさを学び、自らのコミュニケーション能力を高める。自由な発想力や表現力等、人前でも堂々と発表できるような素地をつくる。								
使用テキスト	テキストなし。適宜、プリントを配布。								
週数	授業計画								
1	イントロダクション～授業内容の説明 自己分析と目標設定								
2	シアターゲームとコミュニケーショントレーニング								
3	雑談カトトレーニング								
4	対話と傾聴を学ぶ								
5	相手に伝わる話し方を学ぶ								
6	個人発表 SHOW & TELL								
7	コンテンポラリーダンス～言葉のいらないコミュニケーションを体験する								
8	インプロ(即興演劇)～「Yes、And」思考を体験する								
9	インプロ(即興演劇)～チーム全員でゼロから創造する								
10	ディスカッション								
11	ディベート								
12	スピーチ①								
13	スピーチ②								
14	個人発表								
15	まとめと振り返り								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	40 %	授業内での課題(実技やワーク)に対して、①積極的、意欲的な参加 ②失敗を恐れず前向きに挑戦する姿勢 ③チームに協力する姿勢 以上の観点から						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席・遅刻 ②挨拶・授業態度 ③提出物 以上の観点から総合的に評価する。						
	3. テストその他	30 %	個人発表、グループ発表等。①発表の出来 ②そこに至るまでの過程 ③取り組み姿勢 以上の観点から総合的に評価する。						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	授業の進捗状況、理解度を考慮したうえで、授業の実施順、内容を変更する場合あり。								

科目名	就職支援 I A						学期	前 期	
担当教員	高野直人	科目区分	一般	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
学習目的	働くことの意義と重要性について考える								
授業内容	就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく								
学習目標	働くことの意義と重要性を理解し、社会人となるための心構え、知識、マナーを身につける								
使用テキスト	Bit就職ハンドブック								
週数	授業計画								
1	【オリエンテーション】 「何のために働くのか」「社会人としての心構え」「学生と社会人の違い」について(グループワーク)								
2	非認知能力の重要性、学科が目指す非認知能力について (学修到達度自己評価ヒアリングシート)								
3	働くことの責任と意義(グループワーク)								
4	【意識は行動の原点】 仕事の基本となる8つの意識について学ぶ(グループワーク)								
5	会社の仕事の決まりやしぐみを理解する(グループワーク)								
6	人間関係とコミュニケーション(グループワーク) 非認知能力の振り返り自己分析①(学修到達度自己評価ヒアリングシート)								
7	ビジネスマナーの基本								
8	ビジネス文書「報告書の書き方」								
9	【礼儀としての身だしなみ】 スーツ着こなしセミナー								
10	インターンシップの事前授業								
11	仕事の進め方(5W2H)(PDCA)と報告・連絡・相談								
12	指示の受け方と「報告、連絡、相談」の重要性とポイントを知る。								
13	業界研究、企業研究、インターンシップ先検討								
14	インターンシップに向けての自己分析(エントリーシート作成)								
15	インターンシップに向けての目標設定								
評価基準	評価項目/割合			評価内容					
	1. 課題	40 %	課題プリント等からの評価をもとに算出						
	2. 授業姿勢	30 %	出席率および受講マナー、積極的に授業に参加しているか。以上の観点より算出						
	3. テストその他	30 %	確認テスト結果より算出						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・ 課外授業 実施予定・ その他	インターンシップ・就職								

科目名	就職支援 I B						学期	後 期	
担当教員	高野直人	科目区分	一般	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
学習目的	就職活動や仕事を行っていく上で知っておくべきルールやマナーを理解し、習得する								
授業内容	就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく								
学習目標	就職活動に直結する履歴書作成や模擬面接等を通して自己表現力、コミュニケーション力を身につける								
使用テキスト	Bit就職ハンドブック								
週数	授業計画								
1	【オリエンテーション】 昨年度の実績、就職活動の流れ、社会の状況、心構えなどについて知る								
2	インターンシップの振り返り								
3	非認知能力の振り返り②(学修到達度自己評価ヒアリングシート)								
4	業界・職業研究								
5	企業研究								
6	自己分析講座								
7	履歴書・エントリーシートの書き方講座								
8	履歴書作成の実践①								
9	履歴書作成の実践②								
10	採用試験について(書類選考、面接、作文、適性検査能力試験、作品やポートフォリオ提出など)								
11	適性検査能力試験 模擬受験								
12	今後の就活に向けて 就職活動の報告書の提出や活用方法、各種証明書の発行について								
13	就活キックオフセミナー「働く意義や人生をかけて成長させたいことについて考える」「就職活動の流れと準備を理解する」								
14	面接対策講座								
15	非認知能力の振り返り自己分析③(学修到達度自己評価ヒアリングシート)								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	40 %	課題プリント等からの評価をもとに算出						
	2. 授業姿勢	30 %	出席率および受講マナー、積極的に授業に参加しているか。以上の観点より算出						
	3. テストその他	30 %	確認テスト結果より算出						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	インターンシップ・就職								

科目名	総合演習 I A						学期	前 期	
担当教員	高野直人	科目区分	一般	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
学習目的	専門能力、非認知能力、社会人スキル向上を目的とし学科でさまざまな活動をおこなう								
授業内容	通年を通して実施されるイベントに参加する								
学習目標	学科活動に積極的に参加できる。校内外の人とコミュニケーションがとれる								
使用テキスト	オリジナル								
週数	授業計画								
1	イベント演習								
2	イベント演習								
3	イベント演習								
4	イベント演習								
5	イベント演習								
6	イベント演習								
7	イベント演習								
8	イベント演習								
9	イベント演習								
10	イベント演習								
11	イベント演習								
12	イベント演習								
13	イベント演習								
14	イベント演習								
15	イベント演習								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	50 %	課題及びレポートを評価する						
	2. 授業姿勢	30 %	出欠、授業マナー						
	3. テストその他	20 %	イベント演習の成果を評価する						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	不定期に実施される学校・学科イベント								

科目名	総合演習 I B						学期	後 期	
担当教員	高野直人	科目区分	一般	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
学習目的	専門能力、非認知能力、社会人スキル向上を目的とし学科でさまざまな活動をおこなう								
授業内容	通年を通して実施されるイベントに参加する								
学習目標	学科活動に積極的に参加できる。校内外の人とコミュニケーションがとれる								
使用テキスト	オリジナル								
週数	授業計画								
1	イベント演習								
2	イベント演習								
3	イベント演習								
4	イベント演習								
5	イベント演習								
6	イベント演習								
7	イベント演習								
8	イベント演習								
9	イベント演習								
10	イベント演習								
11	イベント演習								
12	イベント演習								
13	イベント演習								
14	イベント演習								
15	イベント演習								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	50 %	課題及びレポートを評価する						
	2. 授業姿勢	30 %	出欠、授業マナー						
	3. テストその他	20 %	イベント演習の成果を評価する						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	不定期に実施される学校・学科イベント								

科目名	総合演習ⅡA						学期	前期	
担当教員	高野直人	科目区分	一般	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
学習目的	専門能力、非認知能力、社会人スキル向上を目的とし学科でさまざまな活動をおこなう								
授業内容	通年を通して実施されるイベントに参加する								
学習目標	学科活動に積極的に参加できる。校内外の人とコミュニケーションがとれる								
使用テキスト	オリジナル								
週数	授業計画								
1	イベント演習								
2	イベント演習								
3	イベント演習								
4	イベント演習								
5	イベント演習								
6	イベント演習								
7	イベント演習								
8	イベント演習								
9	イベント演習								
10	イベント演習								
11	イベント演習								
12	イベント演習								
13	イベント演習								
14	イベント演習								
15	イベント演習								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	50 %	課題及びレポートを評価する						
	2. 授業姿勢	30 %	出欠、授業マナー						
	3. テストその他	20 %	イベント演習の成果を評価する						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	不定期に実施される学校・学科イベント								

科目名	総合演習ⅡB						学期	後 期	
担当教員	高野直人	科目区分	一般	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
学習目的	専門能力、非認知能力、社会人スキル向上を目的とし学科でさまざまな活動をおこなう								
授業内容	通年を通して実施されるイベントに参加する								
学習目標	学科活動に積極的に参加できる。校内外の人とコミュニケーションがとれる								
使用テキスト	オリジナル								
週数	授業計画								
1	イベント演習								
2	イベント演習								
3	イベント演習								
4	イベント演習								
5	イベント演習								
6	イベント演習								
7	イベント演習								
8	イベント演習								
9	イベント演習								
10	イベント演習								
11	イベント演習								
12	イベント演習								
13	イベント演習								
14	イベント演習								
15	イベント演習								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	50 %	課題及びレポートを評価する						
	2. 授業姿勢	30 %	出欠、授業マナー						
	3. テストその他	20 %	イベント演習の成果を評価する						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・ 課外授業 実施予定・ その他	不定期に実施される学校・学科イベント								